

横浜赤レンガ倉庫にて



横浜探訪 若者支援の現場へ



若者支援の現場は、いま全国で多様な展開を見せています。なかでも、子どもの貧困対策や就労移行の取組みは、地域ごとに違うものの、全国的な課題として社会の関心も高まっています。わたしたちはいま、社会の要請と現場の課題に対して、「ユースサービス」の理念のもとどんな展開をしていくべきか、中長期的な展望を模索しています。

今年4月15日から16日色鮮やかな花に魅せられながら、地域特性や独自のアイデアを活かした団体からお話を聞くべく、横浜を訪ねました。

大事な循環型の地域連携

京都若者サポートステーション
ユースワーカー 熊澤真理

横浜視察では、公益財団法人よこはまユースや横浜市国際交流協会、地域の企業と連携しながら進路として就職を視野にしている高校生に有給職業体験プログラムを提供されているNPO法人パノラマ代表石井正宏さんの3事業所をまわらせていただきました。横浜の青少年育成、貧困層に学習支援だけでなく生活支援を届ける取り組み、外国籍の子ども達への学習支援取り組み等の話を伺い、「バイターン」を含めた地域連携にこだわった特性が色濃く見えた機会となりました。

横浜はCSRが広がっており、人々に社会貢献的意識がめばえているという話をお聞きしました。バイターンも中間就労においても協力的な企業・事業所があってこそ成り立つもので、企業側との歩み寄り方を考えさせられました。石井さんのお話の中では、様々な事業展開を実現していくために大人達が繋がり協力の輪を広げていくことが大切であるということでした。今回の横浜視察を通してやはり地域性を活かした結びつきのある事業展開が大事だと確信しました。また、コミュニティ経済からの切り口で循環型にしていくという発想はおもしろい展開をみせるものだと感じ、今後検討していきたいと思いました。

地域の中でユースサービスを

中京青少年活動センター
ユースワーカー 竹田明子

公益財団法人よこはまユースで伺った「寄り添い型支援」事業は、一軒家で、学習支援だけではなく生活力をつける場として事業を展開しています。“放課後格差”の課題が指摘されるなか、家庭でも学校でもない居場所になっていることも意義高い取り組みと感じました。視察で得た知見の一つ目は、いかに若者の生活時間や生活圏内で社会とつながっていくための事業を行っていくか、二つ目は地域福祉やコミュニティ経済を意図した事業を展開していくかという視点です。

いま、わたしは活動センターを拠点としない「地域の中でのユースサービス」の可能性や位置づけを整理し、実践を模索していきたいと考えています。若者を軸に、若者の成長と社会への接続が保障される地域やコミュニティ、持続可能な事業としてお金が回っていく仕組みづくりはどう展開できるだろうか。今回の訪問では、そのための大きな示唆を得られました。横浜市国際交流協会で行われていた「外国につながる子どもたちへの学習支援」事業では、今後、地域の中で働くロールモデルをどう作っていくかが一つの課題だと伺いました。若者が必要としていること、これからの社会に必要なと思われる取組みを、地域の中で展開していきたいと思っています。

今年も開催します!! ユースシンポジウム 2015「人生はサバイバル!!!」

あなたにとっての“サバイバル”って何ですか？

今回のユースシンポジウムでは、生き方の多様化の中でさまよう若者の“葛藤”や“選択”に焦点をあてて、考えていきたいと思えます。

第1部にはフォトジャーナリストとして歩み始めた方とシェアハウスを起業した方、2人をゲストに迎え、どのように自分の道を選び取ってきたのか、ターニングポイントや葛藤などをお話いただけます。

第2部は、若者同士や若者と他年代の方が、出逢い、語らう対話型のプログラム3年目を迎えます。

今年度は実行委員会形式で『トークフリマ』を企画してき

ました。

人生はサバイバル!!!というタイトルのもと、恋愛や人間関係、就職など、若者にとっての“サバイバルカテゴリー”を設定して、いろいろな価値観で考えてみたいと思えます。



日時：9月27日(日) 10:00~17:30
場所：京都市下京青少年活動センター
内容：第1部 対談会「これが私の生きる道」
第2部 トークフリマ
「reconsider: 本当の自分」
第3部 交流会「また逢う日まで」
参加費：30歳までの方 無料
31歳以上の方 500円
問合せ・申込み先
公益財団法人 京都市ユースサービス協会
まで電話かメールでお問合せください。
※要事前申込み、先着100人。定員に満たなかった場合は当日参加を受け付けます。
☆公式FACEBOOK☆
<https://www.facebook.com/youthsymposium>

ご寄付いただきました

【平成27年3月~7月まで】

牛田 順子 様/虎田 悦子 様/しもせい昔のボランティアスタッフ一同 様/山田 高士 様/松井 憲昭 様/LIVE KIDS 新風館 来場者の皆様/江田 努・薫 様/三光商事株式会社 様/オニム倶楽部 西村 秋男 様
合計額：223,058円

いただいたご寄付については、当協会の取り組みに活用させていただきます。ありがとうございました。

平成21年施工 二条城茶室香雲亭

「古き良き物を次の世代に残し伝えていきたい。」
そう願い、私たちは日々文化財や京町家の修復に努めています。

株式会社 武村工務店

明治28年設立

私たちは若者の活動を
応援しています。

〒604-0933
京都市中京区御幸町通二条下る山本町432
TEL:075-231-2881・FAX:075-231-9422
E-Mail: info@takemura-k.com・URL: www.takemura-k.com

平成18年施工 山崎聖天観音寺 聖天堂